

伊方議会だより

2026

3

Ikata Town Pareliament Public Relation

Vol.83

令和7年11月3日 伊方町合併20周年記念式典・名誉町民証授与式



目次 -Contents-

P 2	第67回臨時会報告
P 2～4	12月定例会の動き
P 4～5	一般質問
P 6	研修レポート
P 7	委員会(協議会)報告
P 7～8	議長の動き

第67回臨時会報告

令和7年11月14日

第67回臨時会が開催され、上程された議案は、原案のとおり承認・可決されました。

報告

町長の専決処分事項報告

軽易な事項は予め町長の権利で執行し、事項の施行結果（里道路側コンクリート擁壁崩落事故）を報告。

専決補正予算

町長の専決処分事項報告（令和7年度伊方町一般会計補正予算（第4号））

補正額 2,482千円 補正後の額 12,322,770千円
名誉町民証授与式開催経費

財産の取得

災害用トイレコンテナの取得

取得価格 32,846,000円 取得の相手方 エムエステック株式会社
取得概要 災害用トイレコンテナ 1棟 配備箇所 井野浦（オリコの里）

発議

田村義孝議員に対する議員辞職勧告決議

（要約）

田村義孝議員は、令和7年1月1日午後5時58分頃、運転中、携帯電話機の操作のため脇見をし、被害者運転の自転車に気付かず、自転車後部に自車を衝突させて、被害者を自転車もろとも路上に転倒させ、相当期間の入院及び治療を要する胸椎破裂骨折等の傷害を負わせた。

行政処分については、令和7年5月21日に免許取消。一方、刑事処分については、令和7年7月10日起訴、同年9月11日初公判、同年9月30日に禁錮1年4月、執行猶予3年に処せられ、同年10月1日に刑が確定している。

本件事故は、自動車運転者にとって基本的な注意義務を怠ったものであり、また被害者が、相当期間の入院及び治療を要する傷害を負った結果も重い。加えて、3年間刑の執行を猶予されているものの、禁錮1年4月の刑が確定した事態は、伊方町議会の信頼を著しく失墜させるものである。

よって、伊方町議会は、失われた町民の議会への信頼を回復するため、田村義孝議員が公人として自らの責任を真摯に受け止め、町議会議員の職を辞するよう勧告する。

12月定例会の動き

令和7年12月10日～16日

第83回定例会が開催され、報告1件、条例12件、補正予算7件、契約3件、その他7件は、いずれも原案のとおり承認・可決されました。

【主な決定事項】

報告

町長の専決処分事項報告

軽易な事項は予め町長の権利で執行し、事項の施行結果（車両損傷事故）を報告。

条例

伊方町防災行政用無線局条例の一部を改正する条例制定

八幡浜地区施設事務組合消防署所在地番の変更。

伊方町議会議員の議員報酬及び期末手当並びに費用弁償支給条例の一部を改正する条例制定

人事院勧告及び愛媛県の特別職に準拠するための期末手当の引上げ。

伊方町特別職の職員の給与に関する条例の一部を改正する条例制定

人事院勧告及び愛媛県の特別職に準拠するための期末手当の引上げ。

伊方町職員の給与に関する条例の一部を改正する条例制定

人事院及び愛媛県人事委員会勧告による給料表の改定、期末勤勉手当及び通勤手当の引上げ。

伊方町会計年度任用職員の給与及び費用弁償に関する条例の一部を改正する条例制定

人事院及び愛媛県人事委員会勧告による給料表の改定、期末勤勉手当及び通勤手当の引上げ。

伊方町職員等の旅費に関する条例の一部を改正する条例制定

宿泊料の増額。

伊方町税条例の一部を改正する条例制定

固定資産税の納期前納付報奨金の廃止。

伊方町国民健康保険税条例の一部を改正する条例制定

保険税率を県が示す標準保険税率（3方式）に近づける改正。

伊方町立学校設置条例の一部を改正する条例制定

九町小学校の閉校。

伊方町乳児等通園支援事業の設備及び運営に関する基準を定める条例制定

令和8年度から全国の自治体で実施される乳児等通園支援事業に伴う設備及び運営に関する基準の整備。

伊方町特定乳児等通園支援事業の運営に関する基準を定める条例制定

令和8年度から全国の自治体で実施される乳児等通園支援事業に伴う運営に関する基準の整備。

伊方町税条例の特例に関する条例を廃止する条例制定

普通徴収に係る個人町民税及び固定資産税の納期を10期から4期へ変更。

補正予算

(単位：千円)

会計名	補正額	補正後
一般会計補正予算（第5号）	△61,900	12,260,870
国民健康保険特別会計補正予算（第2号）		
事業勘定	27,404	1,491,674
直営診療施設勘定	△4,596	454,425
後期高齢者医療保険特別会計補正予算（第2号）	△3,254	197,723
介護保険特別会計補正予算（第3号）		
保険事業勘定	△158,213	1,430,334
介護サービス事業勘定	1,797	16,033
水道事業会計補正予算（第3号）		
収益的支出	151	431,143
資本的支出	1,207	241,374
下水道事業会計補正予算（第3号）		
収益的支出	2,117	409,549
資本的支出	△2,261	202,622
一般会計補正予算（第6号）	7,985	12,268,855

一般会計補正予算（第5号）

小中浦老人憩の家解体工事

施設の老朽化が著しく、隣接する住宅や通行人への安全性に影響を及ぼす恐れがあるため解体。

児童待合所整備工事

九町小学校の閉校及び既設待合所の老朽化に伴い、スクールバス待合所を整備。

(予算内訳) 九町児童待合所新設工事 1,892千円

伊方越児童待合所改修工事 1,672千円

一般会計補正予算（第6号）

亀ヶ池温泉送迎バス購入事業補助金

亀ヶ池温泉の経営健全化と町民の健康と福祉の増進を図り、あわせて地域振興と地域間交流を促進することを目的に町内外から更なる誘客を目指すための送迎バス購入経費支援。

事業内容 マイクロバス（28人乗り） 1台

所有者 亀ヶ池温泉指定管理者（佐田岬マネジメント）



請負契約

伊方町庁舎改修工事請負契約の変更締結

契約の相手方 有限会社宇都宮組 変更理由 事業量変更による増額
変更前 90,970,000円 → 変更後 93,316,000円

伊方町地域振興センター空調設備改修工事請負契約の変更締結

契約の相手方 伊方電気工事株式会社 変更理由 事業量変更による増額
変更前 55,000,000円 → 変更後 62,796,000円

四ツ浜（川之浜）漁港防波堤改良工事（その1）請負契約の変更締結

契約の相手方 藤川建設有限会社 変更理由 事業量変更による増額
変更前 58,520,000円 → 変更後 59,980,000円

その他

伊方町集会所の指定管理者の指定

施設の名称及び所在地 大浜集会所（伊方町大浜417番地）ほか46集会所
指定管理者 大浜地区区長ほか46名
指定期間 令和8年4月1日～令和13年3月31日

伊方スポーツセンターの指定管理者の指定

施設の名称及び所在地 伊方スポーツセンター（伊方町湊浦803番地1）
指定管理者 伊方サービス株式会社
指定期間 令和8年4月1日～令和13年3月31日

議会運営委員会の閉会中の継続調査

議会改革特別委員会の閉会中の継続調査

観光事業対策特別委員会の閉会中の継続調査

原子力発電対策特別委員会の閉会中の継続調査

公共施設環境改善対策特別委員会の閉会中の継続調査

一般質問

答

1 移住者数は令和4年度12人、令和5年度8人、令和6年度5人だが

2 移住を阻む要因は、①仕事が見つからない、②住まいが確保しにくい、③地域に馴染みにくい3つである。特に若年層・子育て世代が住みたいと感じるためにはどの部分に最も力を入れるべきか。

1 本町における近年の移住・定住の状況、移住者数や相談件数の推移について。

2 移住支援制度の実施状況と課題について。

問

全国的に「地方への移住」や「二拠点居住」の動きが広がっており、地方での暮らしが現実的な選択肢となりつつある。

大綱1 伊方町における移住促進について



阿部孝志議員

質問の全文はQRコードを読み込んで、確認できます



一般質問

転入者数全体は、令和4年度215人、令和5年度244人、令和6年度212人。相談件数は、令和4年度37件、令和5年度32件、令和6年度68件。

2 国や県が都市圏で開催する移住フェアへの参加や移住者が住宅改修を行う場合の支援金など、他、定住促進奨励金や奨学金返還支援金、結婚・出産祝い金、子ども医療費助成など、様々な角度から、移住者支援だけでなく、町内からの転出抑制策を展開している。課題は、町が行う支援制度がまだまだ充分には認知されていないことが挙げられる。

3 「仕事」は、町内企業との連携による若年層向けの就業やインターンの斡旋、テレワーク等の柔軟な働き方の導入促進、起業支援の拡充。「住宅」は、空き家調査の更なる促進と町内不動産業者との連携。

また、町有施設の民間活用提案の取り組みを継続し、産業と雇用の創出及び住宅の確保。「地域との共生」は、公共交通をはじめとする生活の利便性向上と地域コミュニティの交流機会の充実、また、子育て世帯に特化した保育・教育環境の充実、学校地域との連携を深めるとともに、移住者と地元住民が自然に交流できる場づくりを役場だけでなく、地域との協働により考えていく。

いずれも大変重要であるため、優先順位をつけるのではなく、総合的に事業展開する必要がある。最近では、都市部と地方の利点を組み合わせた「二地域居住」に注目しており、今後、国の制度の動向を見据えながら、関係人口の増加に努めたい。(町長)

加藤智明 議員



本文は全文をQRコードを読み込んでご確認ください



大綱1 町道・県道の雑草、雑木及び業務体制について

問

町道・県道の管理における草刈り作業は、安全で快適な生活環境の維持の他、景観維持、更には地域の防災・減災にも関連する重要な業務。三崎の港から灯台へ向けての県道・町道においては、雑草によつて道路の幅員が実質的に狭まるとともに視界も悪くなる。

草刈り業務の安全性確保と効率化に向けた取り組みについて。

1 清掃作業員の3名体制は適正か。
2 三崎港から灯台までの県道の草刈作業は、年に1度の作業では対応しきれない箇所が多い。県に対する作業回数増の要望は。

3 人材確保が年々難しくなるが、路面清掃車・除草作業車両の導入の考えは。

答

1 平成21年の設置当時から、道路作業チームは旧町の地域ごとに1チーム3名の3チーム合計9名、公園作業

チームは町内に1チーム合計3名と要綱に定め運営している。また、繁忙期等には必要に応じ、旧町を超えて作業員の範囲を拡大するなど、作業の効率化と円滑化及び快適な生活環境の維持に努めており、現時点では、この体制で作業を進めたい。

2 県に対して、草刈りの回数に関する要望は特にしていない。雑草などが、交通の安全性や見通しの確保に影響を及ぼす場合は、実施可能な範囲で対応していただいている。今後、住民の皆様からのご意見や現地の状況等を踏まえ、適宜県へ情報提供を行い、交通の安全確保について要望したい。

3 路面清掃車や除草作業車両の効果は十分に認識しているが、導入に係る様々な要素を総合的に検討する必要がある。現在公園作業チームについては、広範囲な平地での作業の効率化を図るため、自走式草刈機を2台導入し作業を進めているが、道路作業チームについては、経費の問題や専門の人員確保、町内の道路事情や作業量などを踏まえると、現時点で専用車両等の導入に踏み切ることが困難である。

行政主導の道路の除草には限界があるため、令和4年から町と地域住民及び地元企業等が連携し、町が有償により除草作業を委託する取り組みを行っており、住民の皆様のご協力もいただきながら、可能な範囲で環境美化と交通の安全確保に努めたい。

(町長)

研修レポート —第2回町議会議員研修会—



高月 芳人 議員

令和7年10月8日、1泊2日の日程で「第2回町議会議員研修会」及び県内視察研修に参加させていただきました。

初日の町議会議員研修会はANAクラウンプラザホテルで開催され、第一部では政治ジャーナリスト青山和弘氏

による「どうなる日本の政治」、第二部では元NHKアナウンサー三宅民夫氏による「混迷の時代に『幸せ言葉術』のすすめ」と題された講演が行われました。特に第一部の青山氏の講演では、10月4日に実施された自民党総裁選のメディアでは話せない舞台裏について話され、高市新総裁誕生秘話を興味深く聴かせていただきました。

2日目の県内視察研修では、まず松山市下難波地区に訪れ、「次世代かんきつ整備園強化事業」の取り組みについて、実際に整備園地を見せていただきながら担当者の説明を受けました。大規模かつ整然と園地整備され、かつスマート農業機械が導入されていることで、園地管理や農作業の省力化・効率化、更には、データに基づく作業の最適化が図られており、今後の農業のあり方を考えていくうえで大変参考になりました。次に、伊予市にある栽培資源研究所（水産関係）を訪れ、これからの水産業に対応した新技術の開発や調査研究について担当者より説明を受けました。漁場の環境調査や資源調査（漁獲状況や放流効果）、新養殖魚種の開発、藻場造成試験、種苗生産など、愛媛県の漁業を守り発展させていくための様々な取り組みがなされているということでも勉強になりました。し、海水温の上昇などで刻々と変化していく海の状況に対応していくために、たゆまぬ研究努力がされていることに感銘を受けました。

今回の研修も有意義なものとなりました。今後、研修で学んだことを参考にしながら、少しでも伊方町の政策に反映させ、一次産業の維持・発展に繋げていけたらと思います。



木嶋 英幸 議員

四国四県54町村から、約460人が参加し、政治ジャーナリスト、元日本テレビ解説委員青山和弘先生の「どうなる日本の政治」、元NHKアナウンサー三宅民夫先生の「混迷の時代に『幸せの言葉術』のすすめ」アナウンサー人生で学んだ知恵」と題し、お二人の講演をいただきました。

青山先生は、政治と金、裏金問題、企業団体献金、歴史認識・靖国問題、外国人との共生、副首都構成についてと話が始まり、与野党の今後の展望について講演が突入しました。野党との交渉については、それぞれのパイプ役が人脈を使い国民民主党とは麻生氏がガソリン税・年収の壁について、日本維新の会とは萩生田氏が副首都構想・社会保障改革について、立憲民主党とは松下政経塾繋がりで給付付き税額控除・政治とカネについてと盛りだくさんの内容に一挙に話に吸い込まれ、最後に、予想される今後の日程もお話しいただきました。国会議員の過密スケジュールに改めて驚かされましたが、健康あつての物種、どうか元気で日本の舵取りをやっていたいただきたいというばかりです。

三宅先生は、NHKに入社された経緯や関わった番組の紹介から講演に入り、私でも知っている番組が次々と出てきて懐かしさを感じながら、分かりやすい言葉にあつという間に時間が経ちました。54歳で大病を患った時に、先輩に「悪ければ手術はしないはず」「1年2年のブランクは何でもありません」と勇気づけられたり、言葉のチカラとは「明日への励まし」「心と命の支え」になるとも言われ、不安孤独の世に、言葉には相手と繋がり、安心や幸せを届け元気づけるチカラがあるとも言われました。そのツボは相手を否定しない、相手を思う心の余裕が必要とも力説されました。今回の研修は、身近で分かりやすく非常に良い研修でした。



委員会（協議会）報告

月 日	委員会（協議会）	概 要
11月5日	議員全員協議会	1. 議員の交通事故について
11月7日	議会運営委員会	1. 第67回臨時会の運営について
11月14日	議員全員協議会	1. 三崎分署移転工事の進捗状況について 2. 災害用トイレコンテナの取得について
11月25日	議会運営委員会	1. 第83回定例会の運営について
12月2日	議員全員協議会	1. はしご自動車の共同運用について 2. 八幡浜地区施設事務組合介護サービス事業経営戦略について 3. 伊方町庁舎改修工事請負契約の変更締結について 4. 八幡浜地区施設事務組合火災予防条例の改正について 5. 伊方町第3次総合計画（基本構想）素案について 6. 伊方町過疎地域持続的発展計画素案について 7. 伊方町地域公共交通の状況について 8. 地域活性化起業人制度を活用した人材の受入れについて 9. 町税の納期及び前納報奨金制度の見直しについて 10. 伊方町国民健康保険税の税率改定について 11. 小中浦老人憩の家について 12. 伊方町地域振興センター空調設備改修工事請負契約の変更締結について 13. 四ツ浜（川之浜）漁港防波堤改良工事（その1）請負契約の変更締結について 14. 伊方町集会所の指定管理者の指定について 15. 伊方スポーツセンターの指定管理者の指定について 16. 条例の制定等について 17. 令和7年度伊方町一般会計補正予算（第5号）概要
12月10日	議会運営委員会	1. 第83回定例会の運営について
	議員全員協議会	1. 令和7年度伊方町一般会計補正予算（第6号）概要

議長の動き（主な内容）

11月	3日	伊方町合併20周年記念式典・名誉町民証授与式
	4日	八幡浜地区施設事務組合議会臨時会（八幡浜市） 松野町制70周年記念式典（松野町）
	9日	佐田岬マラソン2025
	10～11日	全国原子力発電所所在市町村協議会全体会議（東京都）
	11～12日	町村議会議長全国大会（東京都）



伊方議会だより

- 11月18～19日 全国原子力発電所立地市町村議会議長会役員会（東京都）
- 29日 宇和島市合併20周年記念式典（宇和島市）
- 12月23～24日 県町村議会議長会第2回全員協議会（松山市）
- 1月 3日 はたちを祝う会（副議長代理出席）
- 8～9日 県町村議会議長会議長研修会（千葉県）
- 16～17日 関東伊方ふるさと会（東京都）
- 30日 行政と伊方町商工会役職員との懇談会（副議長代理出席）

令和7年11月9日 佐田岬マラソン2025



令和8年1月3日 はたちを祝う会



伊方地域



瀬戸・三崎
地域

3月号
Vol.83

◆ ◆
電 発
話 行

0894-380-2662
愛媛県伊方町議会

◆ ◆
住 編
所 集

議会だより編集委員会
愛媛県西宇和郡伊方町湊浦1993番地1